

スポット ニュース

ちんさち 沈砂池の工事をしています

沈砂池は、瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事の一環として行っており、主に用地内に降った雨水を集め、混じっている砂などを沈め、きれいにして川に流す仕組みになっています。

8月20日現在で工事の進捗率は47%です。なお、沈砂池の工事は10月末までを予定しております。



沈砂池の工事の様子

今月の作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

- 100～250 ㍍程度のボーリング作業
(MSB-1,3号孔：ボーリングの準備作業)
- (MSB-2号孔：終了)
- (MSB-4号孔：約99 ㍍掘り掘削を完了。8月20日現在 水理試験中)
- 瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事(沈砂池の工事)

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧の長期観測
- 物理探査を行うための既存ボーリング孔の追加掘削(深さ106m 400m)
- 正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業
- 動植物のモニタリング調査

地層研ニュースに関するご質問または、正馬様用地、瑞浪超深地層研究所の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

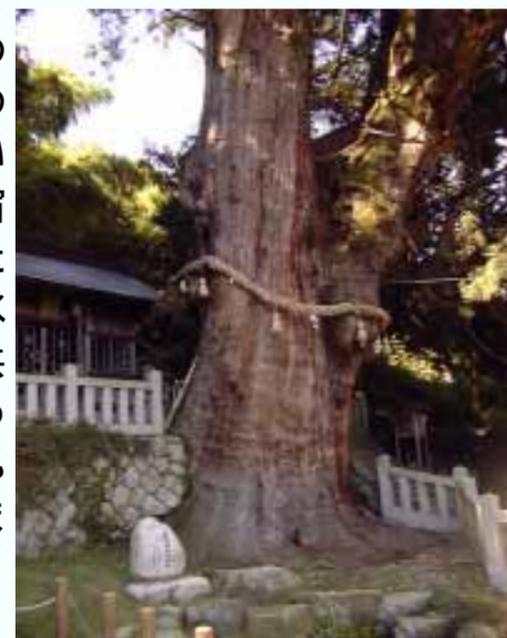
: 0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課(青木,茅吹,福島)

文化・歴史・自然を楽しむ in 瑞浪

おおくてしんめいじんじや
大湫神明神社の大杉(県指定天然記念物)
所在地：瑞浪市大湫町 398 番地

大湫町の大杉は神明神社の前にそびえる御神木で、樹齢1200年余と言われ、太さ11m、高さ60m、コブを付け太い枝を張り広げている姿は圧倒されます。まさに樹木の王者といった感じです。

なお、御神木の根元には「神明の清水」が湧いていて、江戸時代の宿場当時には旅人たちの貴重な飲料水として、大杉と共に親しまれたそうです。清水は今も湧き続けています。



おおくてしんめいじんじや
大湫神明神社の大杉(御神木)

用語あれこれ

かせいがん
【火成岩って何?】

マグマの固まり方や成分の違いによって、火成岩は多くの種類に分けられます。例えば、溶岩などのように急激に冷えて固まったものは粒子(結晶)が小さくなり、成分の違いにより玄武岩や安山岩などと呼ばれます(火山岩に分類されます)。逆に地下深くで、ゆっくり冷えて固まったものは粒子(結晶)が大きくなり、成分の違いにより花崗岩や閃緑岩などと呼ばれます(深成岩に分類されます)。

火成岩をいろいろ調べてみると、火成岩がどのようにして固まったのか、どのようなマグマからできたのかなどがわかります。

火成岩は、地球の深い所からのメッセンジャー(使者)なのです。

来月の作業予定

【瑞浪超深地層研究所】

- 100～250 ㍍程度のボーリング作業
(MSB-1,3号孔：ボーリングの作業の開始予定)
- (MSB-4号孔：作業終了予定)
- 瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事(沈砂池の工事)

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧の長期観測
- 物理探査を行うための既存ボーリング孔の追加掘削(深さ106m 400m)
- 正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業